

感染症予防法成立記念映画

文部科学省選定
厚生労働省推薦
優秀映画鑑賞会推薦
青少年育成国民会議
推薦

福江島

日本西端の孤島で繰り広げられる医学サスペンス・音楽ドラマ

猛毒の新型インフルエンザ
感染者500万、
死亡率10%に上陸?



果敢に立ち向かう最強の
医療・研究チーム
鼻ワクチンは間に合うか!



原作・音楽・監修：水島 裕
監督：高木 裕己



キャスト：江藤潤／森下涼子／坂西良太／仁科貴／赤間麻里子／弓恵子／小泉博

特別出演：秋山恵美子(ソプラノ)／秋永佳世(ソプラノ)／巨勢典子(ピアノ)

脚本：高木裕己／水島広子 プロデューサー：長谷川聡 撮影：堀田泰寛 照明：外岡修 録音：井上幸雄 美術：江波裕二

協力：三井楽町役場／三井楽町国民健康保険診療所／福江市役所／長崎県離島医療圏組合 五島中央病院／聖マリアンナ医科大学／同大学難病治療研究センター／長崎大学医学部第二内科学教室／東映化学工業株式会社／福島音響／報映産業株式会社／富士写真フイルム株式会社

企画・製作：エルティーター研究所感染症予防対策映画制作委員会 制作：映学社／メディア東京

北風りんたろう没後八十年記念演奏会

協賛：福江市／三井楽町／福江市文化団体連絡協議会／北風会



科学は人々を救ってきた。また今後も必ずそうであろう。科学は決して人類を不幸にしてはならない
企画・原作・音楽・監修 水島裕（聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 名誉センター長 参議院議員）

【原作者のことは】

1918年、新型インフルエンザであるスペイン風邪が世界中で猛威をふるい、2,500万人もの死亡者を出しました。これは、第一次世界大戦の戦死者854万人の3倍にあたります。現在でも、世界的な流行を繰り返しているインフルエンザは、エイズなどの新型感染症とともに、21世紀、最も恐れなくてはならない感染症として注目を集めています。

ところで、わが国の感染症対策は、ワクチン接種や研究体制など、欧米先進国と比べて非常に遅れているというのが現状です。このままの防御態勢では、いざというとき、ただ犠牲者が出るのを指をくわえて眺めているだけ、ということにもなりかねません。

そうした中、1998年9月25日、国会において感染症予防法が成立しました。この法案成立を記念して、感染症の恐ろしさと、防御態勢・臨床研究の重要性を広く国民のみなさま方に訴えるために、新型インフルエンザをテーマとして医学サスペンス映画を制作いたしました。

美しい映像と音楽で綴る、スリルあふれる医療現場の人間模様を通して、みなさまも感染症について考えるきっかけとなさってはいかがでしょうか。

【あらすじ】

長崎県五島列島・福江島。隠れキリシタンゆかりの美しい情景の中を、澄んだピアノの音色が響きわたる。市民ホールの舞台上、一人の女性がピアノを奏でている。彼女こそ、福江島が生んだ架空の音楽家・北風りんたろうの曾孫である新進のピアニスト・北風さやかである。りんたろう没後80年記念演奏会に向けてのリハーサルである。洗練された音色に聞き入る関係者たちの中に、福江島出身の東都大医学部教授・五島英一と孫の真弓の姿がある。

ちょうどそのころ、三井楽町の、ふだんは静かな診療所が、急にあわただしくなった。重症のインフルエンザ患者が救急車で次々と運び込まれて来たのだ。小さな町がパニックに陥る。

一方、中国奥地でも、これまでにない悪性の新型インフルエンザが蔓延しているという。東京の日本感染症センター。真弓の父である医師・五島守が、研究者の小泉医師から、中国奥地のインフルエンザウイルスの塩基配列が、スペイン風邪とそっくりであることを告げられる。実は、北風りんたろうも、80年前にスペイン風邪で死亡したのだった。

福江島から帰京した真弓が急に高熱を出した。どうやら、島でインフルエンザを移されたらしい。守は、真弓を感染症センターに入院させる。肺炎を併発しており、かなり重症である。真弓のウイルスを検査したところ、中国奥地のものと同じホンコンX型ウイルスの反応が出た。

五島英一は、厚生省で、福江島で流行し始めたインフルエンザがホンコンX型であるとの報告を受け、今後の対策について話し合うが、解決策は見出せない。わが国では、ワクチン接種が義務づけられなくなってから製造ラインも縮小したため、ワクチンの早急な製造は不可能なのだ。

小泉医師は、ホンコンX型の蔓延を防ぐためには、今自分が開発中である特殊なワクチンでなければ不可能であるということを守と英一に訴える。その特殊なワクチンとは、鼻から噴霧するいわゆる「鼻ワクチン」で、小泉医師は、これを自らに投与して福江島に救援活動へ行き、ワクチンの効果を実証して厚生省を動かそうとしていることを告げる。そんな人体実験は許されない、と責める上司や関係者たち。だが、守は小泉の話聞いたときから密かに決意を固めていたのだった。

1998年／カラー／16ミリ／1時間40分



スタッフ

監督：高木裕己 脚本：高木裕己／水島広子 プロデューサー：長谷川聡 撮影：堀田泰寛 照明：外岡修 録音：井上幸雄 美術：江波裕二 編集：足立浩 スクリプター：津島由起江 キャスティング：吉川威史 助監督：湯澤利明 製作担当：砂川浩二 湖情景撮影：清水良雄 音響ディレクター：田中道博 監音：福田伸 ネガ編集：山本晴彦 助監督：川津一修／斉藤克康 撮影助手：秋葉清功／松根広隆 照明助手：近藤裕康／志村和夫 録音助手：照井康政 美術助手：関根章メイク：瀬畑奈央 衣装：山本蘭 スチール：津田賢治 演技事務：石垣光代 制作進行：岡元太／近藤ツヤ 制作デスク：外川光子／黒田都子 協力（表面の続き） 劇団常夜燈／源ちゃん一座／コールフロイデ（福江第九を歌おう会）／福江市のみなさん／三井楽町のみなさん／大阪医科大学微生物学教室

企画制作：エルティーティー研究所感染症予防対策映画制作委員会 制作：映社社／メディア東京

販売価格（税込）

| | |
|---------------|----------|
| 16m／mフィルム版 | ¥950,000 |
| ビデオ版 VHS・β | ¥85,000 |
| 16m／mフィルム貸出し料 | ¥95,000～ |

問い合わせ先